

学習履歴「M-ログplus」の活用方法

活用の流れ

- ① 1人1台端末のアプリケーションに合わせてM-ログplusを調整し、「単元」のめあてを記述しておく。
- ② 「単元」の設定や「M-ログplus」の使い方(蓄積の方法・内容・視点)を生徒に説明する。
- ③ 「単元」の学習前の考えを記述する。
- ④ 道徳や各教科等の学びを「M-ログplus」に蓄積・整理する。
- ⑤ 「M-ログplus」の蓄積状況を基に、評価やフィードバック、授業の省察を行う。
- ⑥ 「単元」の学びを振り返り、学習後の考えを記述する。
- ⑦ 「M-ログplus」の蓄積状況を基に、評価やフィードバック、授業の省察を行い、授業改善を図る。また、生徒の学びを、各教科等で行う道徳教育につなげる。

⑤ 今度の道徳の授業では「自分自身との関わり」で考えを深める発問をしてみよう。

⑦ 自分が担当する教科の授業で、道徳の学びとつなげた声掛けをしてみよう。



めあてにかかわる記録を残そう
【教科等・学びや気付き】

「学びの軌跡シート(改)」で設定した「単元」のめあてを示します。

単元のめあて：① 夢や目標の実現するために大切なことを考えよう

学習前の考え

③ あきらめずに努力を続けること

④

「銀メダルから得たもの」
前向きにな気持ちはなる言葉遣いや言葉掛けを意識しようと思った。

「部活動」
練習試合のときの顧問の声掛けて、結果だけにとられるのではなく、日々の努力を大切にしないといけないと思った。

「合唱コンクール」
合唱コンクールの取組で、友達のふるまいを見て、一致団結することの大切さを感じた。

自分自身との関わりで考えられた「自分なら」「自分は」

上に行くほど、生徒は「自分自身との関わりで考えられた」と実感しています。

人間としての生き方について考えを深めた

「体育」
バスケットボール競技のときに、友達との協力が目標達成に大切だと感じた。

「新しい夏のはじまり」
友達の考えを聞いて、自分にはない考えだったので、なるほど、と思った。

多面的・多角的な見方で考えられた「へー!」「なるほど!」

学習後の考え

⑥ 上手くいかないことがあってもあきらめない強い気持ちだけでなく、仲間と高め合える関係になることが大切だと思った。

自分の変容・成長を実感

道徳科の学び

教材名を動かして貼り付けたり、振り返りシートのスクリーンショットを貼り付けたりします。

学びの整理

各教科等の学び

「単元」のめあてや道徳の授業の学びと関連する各教科等の学びを生徒が自由に蓄積します。

学びの結び付け

右に行くほど、生徒は「多面的・多角的な見方で考えられた」と実感しています。